

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	6-3-1		
2 地域づくりの方向	人間優先の基盤が整備された安全・安心のまち		
3 政策	魅力を支える交通環境づくり		
4 施策	総合交通戦略の推進		
5 評価担当部	都市整備部		
6 施策関連課	都市計画課		
7 評価者	都市整備部長 近藤 正仁		

8 施策の目標	<p>交通弱者の移動の確保や渋滞など交通に起因する環境負荷の低減とともに、快適な生活環境の確保、都市の活力や魅力の向上を目指し、まちづくりと都市交通が連携した総合的かつ戦略的な取組を進めていきます。</p> <p>すべての区民が安心して容易に外出できるよう、各交通手段との連携を踏まえた交通体系を構築していきます。</p>						
9 施策の現状と課題	<p>○豊島区内の未整備の都市計画道路のうち、環状5の1号線、環状4号線、放射9号線、補助26号線、補助73号線、補助81号線、補助82号線、補助172号線、補助176号線が事業中である。</p> <p>○都市計画道路の整備により変化する交通環境を捉えて、鉄道との立体交差化による踏切解消やバス路線を再編するほか、あらゆる交通手段のあり方を総合的に検討し、新たな交通ネットワーク網を形成していく必要がある。</p> <p>○池袋駅周辺は、駅前に入流する通過車両により自動車と歩行者が輻輳しており、歩行者が安全・安心に通行することが懸念されている。</p> <p>○池袋駅周辺では、環状5の1号線地下通路の完成により通過車両の大幅な減少が予測され、快適に回遊できる歩行者空間を拡大するとともに、特定都市再生緊急整備地域による官民一体となった都市再生事業を活性化し、新たな拠点として東京メトロ副都心線の新駅設置に向けて協議していく必要がある。</p>						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)							
11 今年度の施策の取組方針	誰もが利用しやすく、移動しやすい交通体系の実現に向けた検討を進める。						
12 投入コストの推移	費 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	119,141	108,840	115,884	597,141	222,270	
	うち一般財源分(千円)	119,141	108,840	80,971	408,902	217,470	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	「鉄道・バス等の交通が便利である」と考える区民の割合	目標値	85.0%	85.5%	86.0%	86.5%	87.0%
		実績値	85.4%	85.2%	86.3%	85.5%	85.8%
		達成率	100.5%	99.6%	100.3%	98.8%	98.6%
		達成状況	A:達成	B:相当程度達成	A:達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 「鉄道・バス等の交通が便利である」と考える区民の割合				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	区内の都市計画道路の整備状況	目標値	69.5%	70.3%	78.5%	86.7%	86.7%
		実績値	64.5%	65.8%	65.9%	65.9%	65.9%
		達成率	92.8%	93.6%	83.9%	76.0%	76.0%
達成状況		B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 都市骨格軸となる都市計画道路は、周辺地域の連携と交流を支え、さらなる利便性や安全性を向上する交通体系のあり方の指標となるため					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	87.3%	【達成状況分析】				
	B:相当程度達成	<p>区内には、平成27年1月に特定整備路線の5路線7区間が事業化するとともに、環状5-1号線の地下道路など多くの都市計画事業が進められ都市計画道路による交通ネットワークが拡大しつつある。特に環状5-1号線開通後は、池袋駅前を歩行者優先の空間として整備する計画である。こうしたことも起因して、区民意識調査の結果では、鉄道やバスなどの公共交通が便利であるが8割以上を占め区民の要望・期待におおむね答えていると考える。</p> <p>今後は、順次開通する都市計画道路の状況を踏まえて、交通のあり方をさらに検討していく必要がある。</p>					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
		都市計画道路の整備は、交通体系の利便性や安全性の向上に大きく影響し区民の満足度向上とも相関関係にあると考えられるため50対50とする。					
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	<p>施策を構成する現在の事務事業は、特性が計画策定の色彩が強く、達成度を測る指標との関係を考えると、効果を上げにくい。しかしながら、誰もが利用しやすく、移動しやすい交通体系を実現していくためにも、実証実験や社会実験などを交えながら計画的に事業を進めていくことは当然必要であると考えられる。</p>						

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	各事業の中で、今後さらなる乗車人員増が必要な池袋の魅力を引き出すツールとなる「池袋副都心移動システム」、池袋駅周辺地域における歩行者優先空間の創出に不可欠な「池袋副都心交通戦略推進事業」、「池袋駐車場整備計画の策定」並びにコミュニティバス路線として高齢者需要の高い「地域公共バス運行支援事業」をすべて★★とした。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	令和2年10月より開始した南北区道の車両通行規制により、快適な歩行者空間が拡大した一方で、周辺の路上駐車車両や荷さばき車両に対する対策が引き続き必要となっており、既存の駐車施設の有効活用、駐車場地域ルールの運用による適切な駐車施設の確保、荷さばきルールの推進による運送事業者の協力など引き続き検討していく必要がある。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	南北区道の歩行者優先化による周辺の交通への影響について、路上の荷さばき車両対策を検討する必要がある。また、駐車場地域ルールは東池袋地区のエリア拡大を行うとともに、運用協議会を自立させるための仕組みづくりとその支援を引き続き実施する必要がある。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1001-12	池袋副都心交通戦略の推進		事業費合計(千円)	30,428	40,740	24,929	29,980	24,807
			うち一般財源分(千円)	30,428	30,740	24,929	24,980	21,807
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
1001-13	池袋駐車場整備計画の策定		事業費合計(千円)	25,548	13,798	16,359	27,278	14,661
			うち一般財源分(千円)	25,548	13,798	13,359	20,634	12,861
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
1001-14	地域公共バス運行支援事業		事業費合計(千円)	45,701	23,802	20,305	23,117	24,201
			うち一般財源分(千円)	45,701	23,802	20,305	23,117	24,201
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
1001-15	池袋副都心移動システム推進事業		事業費合計(千円)		21,067	32,025	516,766	158,601
			うち一般財源分(千円)		21,067	24,527	340,171	158,601
			現状評価		B:普通			
	事業特性1	任意の事業	施策貢献度		★★★	★★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性		A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	6-3-2		
2 地域づくりの方向	人間優先の基盤が整備された安全・安心のまち		
3 政策	魅力を支える交通環境づくり		
4 施策	道路・橋梁の整備と維持保全【重点】		
5 評価担当部	都市整備部		
6 施策関連課	土木管理課	道路整備課	公園緑地課
7 評価者	土木担当部長		

8 施策の目標	安全・快適で地域の価値を高める道路整備を進めています。 施設の長寿命化やライフサイクルコストの最小化、更新時期の平準化などにより、既存ストックの有効活用を進め、安全・安心な道路・橋梁のネットワークを構築していきます。						
9 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難経路等防災上の重要な役割を担っている。また、駅周辺の幹線道路は賑わいや街並みを形成する上でも重要な都市基盤である。 ・都市計画道路の完成率は約65%（平成30年度末）で、現在事業中の路線（特定整備路線等）が完成すると約87%になる見込み。都市施設G資料より ・豊島区内道路の延長は、国道、都道、区道を含わせて約304km、その内約93%となる283.9kmは区道として管理している。豊島のまちづくりより ・都市計画道路の新設時だけでなく、既存道路の改修時にも、バリアフリー化を効率的に進めることが求められている。 ・道路や橋梁の管理を事後保全型から予防保全型に転換し、改修費の平準化を含めたコスト縮減が求められている。 ・SDGsの理念に基づき、環境に配慮した道路づくりが求められている。 						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化（法改正、社会状況等）	<ul style="list-style-type: none"> ・笹子トンネル天井板崩落事故をきっかけとして、平成25年度に道路法が改正された。この改正により、道路構造物や橋梁について、平成26年度から5年に一度の近接目視点検が義務付けられた。 ・占用埋設物などの老朽化等に伴う道路陥没等の事故が発生している。これを未然に防ぐため、路面下空洞調査の必要性が高まっている。 						
11 今年度の施策の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・街づくりに併せ道路の景観整備を行うことで、国際都市にふさわしい街並みや景観を形成する。 ・道路パトロールや、空洞調査など適正な管理により事故防止を図る。 ・橋梁や構造物の管理を事後保全型から予防保全型へと転換を図る。 						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	1,701,535	1,310,441	1,810,318	2,250,001	2,616,308	
	うち一般財源分(千円)	869,542	1,287,258	1,593,464	2,052,196	2,549,876	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	管理橋梁の健全度Aの割合【%】	目標値	70	85	85	85	90
		実績値	85	85	85	92	92
		達成率	121.4%	100.0%	100.0%	108.2%	102.2%
		達成状況	A:達成	A:達成	A:達成	A:達成	A:達成
	指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 道路・橋梁が適切に維持管理されていることを示す指標のため				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	遮熱性舗装を実施した累計面積【㎡】	目標値	23,000	25,500	33,000	34,000	36,000
		実績値	27,657	34,458	35,251	35,998	38,757
		達成率	120.2%	135.1%	106.8%	105.9%	107.7%
達成状況		A:達成	S:目標超過達成	A:達成	A:達成	A:達成	
指標重要度の割合(%)	50	指標設定理由 道路インフラを活用したヒートアイランド対策は、都市環境の向上を図る上で有効な手法であるため。					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	104.9%	【達成状況分析】				
	A:達成	<ul style="list-style-type: none"> ・豊島区内の全橋梁の14橋中、13橋において健全度A(判定区分ⅠもしくはⅡ)が確保されており、計画的な補修と適正な維持管理が行われている。 ・道路の改修工事に併せて、幹線道路を中心に遮熱性舗装を採用してヒートアイランド現象の低減を図っている。 					
		【指標重要度の割合の設定理由】 <ul style="list-style-type: none"> ・道路基盤としての重要性和、環境対策としての重要性和を鑑み、双方とも同じ重要度とした。 					
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	<ul style="list-style-type: none"> ・構造物の調査や路面下空洞調査により、予防保全型の維持管理体制が構築されている。 ・都市計画道路176号線、大塚駅前広場、旧庁舎・新庁舎周辺といったまちづくりに併せた道路整備も計画どおりに進捗している。 ・遮熱性舗装を幹線道路に積極的に採用することで、ヒートアイランドの低減を図るとともに、モザイクカルチャーの設置など環境面での向上に寄与している。 						
16 施策貢献度の考え方（設定の根拠・理由）	<ul style="list-style-type: none"> ・都市生活の基礎的インフラである道路を適正に維持管理していくためには、正確に道路状況を把握して、効率的な保守管理やライフサイクルコストの低減を図っていく必要がある。また、ヒートアイランド対策などの環境に配慮した道路整備も求められており、いずれの事業も施策の貢献度は高い。 						
17 来年度の方針（課題解決策や改善策、成果向上策について）	<ul style="list-style-type: none"> ・路面下空洞調査の結果を踏まえて、速やかな対策を講じて事故等を未然に防ぐ。補修の方法や規模などを適切に判断して、施設の維持管理コストの低減を図る。 						

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

18 新規・拡充事業の効果や必要性	
-------------------	--

19 施策を構成する計画事業

事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1102-2	橋梁の点検調査及び整備	事業費合計(千円)	277,943	44,922	306,841		
		うち一般財源分(千円)	188,992	30,520	137,479		
		現状評価	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好	A:良好
	事業特性1 維持管理事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★	★★	★★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
1102-01	区道の安全安心通行空間確保事業	事業費合計(千円)	698,633	797,945	846,870	778,405	761,280
		うち一般財源分(千円)	104,331	797,945	846,870	778,405	761,280
		現状評価	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
1102-03	私道舗装助成	事業費合計(千円)	15,044	16,742	24,925	29,863	18,993
		うち一般財源分(千円)	15,044	16,742	24,925	29,863	18,993
		現状評価	A:良好	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★	★	★	★	★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
1102-04	大塚駅周辺整備事業	事業費合計(千円)	13,175	228,935	78,497	225,822	1,391,793
		うち一般財源分(千円)	13,175	228,935	78,497	225,822	1,329,710
		現状評価	B:普通	B:普通	A:良好	A:良好	A:良好
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
1102-05	池袋西口駅前広場モザイクカルチャー設置事	事業費合計(千円)	10,644	11,867	14,406	12,981	13,830
		うち一般財源分(千円)	10,644	11,867	14,406	12,981	13,830
		現状評価	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通	A:良好
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★	★	★	★	★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
1102-06	区道の整備事業	事業費合計(千円)	291,357	139,207	152,633	638,872	226,238
		うち一般財源分(千円)	256,765	139,207	152,633	638,872	226,238
		現状評価	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
1102-07	庁舎跡地・新庁舎周辺道路整備事業	事業費合計(千円)	60,446	21,287	206,949	254,958	146,824
		うち一般財源分(千円)	60,446	16,727	206,949	254,958	146,824
		現状評価	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
1102-08	都市計画道路の整備事業	事業費合計(千円)	297,080	14,875	135,129	279,536	19,088
		うち一般財源分(千円)	186,825	14,875	91,655	86,025	18,001
		現状評価	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通	B:普通
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★★
	事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
1103-05	街路灯事業	事業費合計(千円)	326,640	401,227	402,929	430,933	393,979
		うち一般財源分(千円)	6,115	7,147	122,465	144,670	105,526
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2 国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持

20 施策を構成する一般事業

事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1101-03	道路占用事務	事業費合計(千円)	33,843	31,291	38,018	23,514	24,362
		うち一般財源分(千円)	29,950	27,070	34,000	19,220	21,100
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
1101-04	屋外広告物の許可事務	事業費合計(千円)	3,370	3,370	6,050	6,050	13,900
		うち一般財源分(千円)	3,370	3,370	6,050	6,050	13,900
		現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1 任意的事業	施策貢献度	★	★	★	★	★
	事業特性2 区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	6-3-3		
2 地域づくりの方向	人間優先の基盤が整備された安全・安心のまち		
3 政策	魅力を支える交通環境づくり		
4 施策	自転車利用環境の充実		
5 評価担当部	都市整備部		
6 施策関連課	土木管理課		
7 評価者	土木担当部長 宮川勝之		

8 施策の目標	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、都や隣接自治体と連携して、安全で快適な自転車の走行環境の整備を進めています。							
	駐輪場の拡充や設備更新等により自転車の利用環境を充実していきます。							
	自転車の放置対策を継続し、放置自転車の発生を抑制していきます。							
9 施策の現状と課題	豊島区では、平成18年策定の「第一次豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画」により、鉄道事業者等の協力のもとで「駐輪場の整備」と「放置自転車の防止」の施策を強く推進した結果、平成11年度11,468台の放置台数が令和2年度439台までに激減した。駐輪場の整備については、同総合計画による整備目標台数(6,500台)を計画期間内に達成したが、未だ、駅周辺の駐輪需要が満たされていない地域があるとともに、自転車駐輪場利用率を上げるため、既存の自転車施設の老朽化や自転車の大型化への対応等、今後も整備・改修が必要である。平成30年度に策定した「豊島区自転車走行環境計画」において、令和9年度までに33.5kmの自転車走行環境を整備することを目標としているが、新型コロナウイルス感染症の影響による遅れで、令和2年度時点で整備済路線は、約2.3kmとなっており目標の見直しが必要である。							
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	平成28年12月に自転車活用推進法が制定されたことにより、自転車専用道路・自転車専用通行帯等の整備、路外駐輪場の整備、シェアサイクル施設の整備、交通安全に係る教育及び啓発、自転車活用による国民の健康の保持増進、自転車と公共交通機関との連携の促進などが求められている。また、自転車の大型化などにも対応できる施設整備も必要になっている。							
11 今年度の施策の取組方針	放置自転車が増加する夜間・休日における撤去活動及び買い物物の短時間放置について対応する。老朽化した自転車駐輪場等について、改修等利便性の向上を図る。また、新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化を踏まえて、指定管理者導入の可否及び地域等を改めて検討する。							
12 投入コストの推移	費 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	事業費合計(千円)	1,904,059	714,931	746,251	737,042	761,246		
	うち一般財源分(千円)	1,412,135	320,364	345,004	353,811	458,931		
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	駅周辺の自転車等乗り入れ台数に対する放置自転車台数の割合(%) 【放置台数/(放置台数+駐輪場利用台数)】	目標値	6.1	5.8	5.5	5.2	5	
		実績値	5.6	4.1	3.8	3.7	5.2	
		達成率	108.2%	129.3%	130.9%	128.8%	96.0%	
		達成状況	A:達成	A:達成	S:目標超過達成	A:達成	B:相当程度達成	
指標重要度の割合(%)	100	指標設定理由 毎年継続して調査を実施しており、放置台数と駐輪場利用台数が密接に関係しているため						
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	96.0%	【達成状況分析】					
	B:相当程度達成	令和2年度の放置自転車台数は前年度より微減であったが、新型コロナウイルス感染症対策のテレワーク普及により、駐輪場利用台数が約3,500台減少したため達成率が下がった。						
		【指標重要度の割合の設定理由】						
	放置台数と駐輪場利用台数が密接に関係しており、放置自転車対策の達成状況が一目で把握できるため。							
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	新型コロナウイルス感染症によるテレワークの普及等社会情勢の変化により、自転車駐輪場等の利用台数が大幅に減少した。一方、放置自転車台数についても、夜間、休日における撤去活動の強化等により、前年度より減少している。							

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	<p>放置自転車対策として受け皿となる「自転車駐車場等の整備事業経費」は、放置禁止区域を設定するためと駐輪場等の利用促進に必要な事業であり、「放置自転車対策事業経費」の撤去活動とともに欠かすことが出来ないものである。「自転車駐車場等管理運営事業経費」については、利用者の利便性の確保、向上のため恒久的に続くものである。「豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画の推進事業経費」については、平成29年度以降、自転車走行空間の計画策定、整備等、放置自転車対策だけでなく、自転車事故防止も含めた自転車利用環境の充実に大きく貢献するものである。</p>
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	<p>「第二次豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画」の「自転車等駐車場整備の推進(地域構想)」の各駅周辺の自転車等駐車場整備方針に基づき、自転車駐車場の整備及び改修を進め、放置率減少を目指すとともに利用者の利便性の向上を図る。また、「自転車活用推進法」に沿って、国や都、近隣自治体とも協力して自転車の利活用を推進する。「豊島区自転車走行環境計画」に基づく自転車ナビラインの整備を行う。</p>
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1101-04	放置自転車対策の推進事業経費	事業費合計(千円)	291,065	275,188	240,617	234,145	249,969	
		うち一般財源分(千円)	217,573	216,804	177,341	168,437	201,395	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	A:改善・継続
1101-07	自転車駐車場等の整備事業経費	事業費合計(千円)	1,215,555	64,220	67,788	45,007	12,619	
		うち一般財源分(千円)	1,116,355	60,420	62,788	41,407	12,619	
		現状評価	A:良好	A:良好				
	事業特性1		施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2		今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
20 施策を構成する一般事業								
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
1101-05	自転車駐車場等管理運営事業経費	事業費合計(千円)	385,588	357,018	424,468	446,805	486,015	
		うち一般財源分(千円)	66,356	24,635	91,497	132,882	232,274	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	B:改善・見直し	B:改善・見直し
1101-06	豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画の推進事業経費	事業費合計(千円)	11,851	18,505	13,378	11,085	12,643	
		うち一般財源分(千円)	11,851	18,505	13,378	11,085	12,643	
		現状評価	A:良好	A:良好				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★	★	★	★	★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)